

NEWS RELEASE (2025 年 6 月 17 日) 取材依頼

新時代の幕開け-「口腔ケア+スイーツ」の発想転換

歯磨きスイーツ（仮）説明会&試食会

美味しくて歯の健康に良い、新しい発想の“口腔ケアスイーツ”が
鹿児島大学の研究成果と地元企業との連携によって誕生！

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。次の「歯磨きスイーツ（仮）説明会&試食会」について取材方お願いいたします。

【趣旨等】

この度、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 国際歯科・人間科学分野、平間雅博准教授と「歯磨きスイーツ（仮）準備会」は、全く新しい「歯磨きスイーツ（仮）」を一般の方に体験することができる無料の試食会と説明会を開催します。

【日時】 2025 年 6 月 20 日（金）13:30～16:30

【場所】 鹿児島大学郡元キャンパス産学交流プラザ「セミナー室」（説明会）&「多目的スペース」（試食会）

【対象】 一般の方（お子様連れを歓迎します。）、教育関係者（幼稚園、保育園、学校等）、医療関係者（医師、歯科医師、小児、リハビリなど）、病院・高齢者施設のご担当者

【内容】「歯磨きスイーツ（仮）」は、砂糖（ショ糖）を使用せず、代わりに虫歯を引き起こすミュータンス菌の栄養源になりにくい希少糖やオリゴ糖を採用し、さらに、口腔環境に配慮した環状オリゴ糖を配合し、就寝前にも取り入れやすく、すっきりした後味とお口にやさしい設計をしています。就寝前にお召し上がりいただいた方からは、「翌朝の口の中がすっきり感じられた」といったご感想も寄せられています。関係法規上機能性や薬効の表示は行いませんが細菌学的試験では、「歯磨きスイーツ（仮）」の存在下で、ミュータンス菌によるバイオフィルム（プラークの前駆体）の形成に変化が見られることが確認されました。

「歯磨きスイーツ（仮）」は、歯ブラシの使用が難しい幼児や高齢の方、そして介護現場で口腔ケアに携わる皆様にとって、“食べることで口腔ケア習慣をサポートする”新しいアプローチです。

- ・ 歯みがきが苦手なお子様にも、おやつ感覚で楽しみながら取り入れやすい設計です。
- ・ 高齢者の手指の不自由さや認知機能の変化があっても、無理なく使えるよう配慮しています。
- ・ 介護現場での業務負担軽減にもつながる可能性があり、限られた時間内でも実用的な選択肢として注目されています。

【出席者】プロジェクトリーダーの平間雅博准教授（医歯学域歯学系 医歯学総合研究科 健康科学専攻 社会・行動医学講座）は、長年にわたり米国で小児歯科医として臨床・研究に携わり、行動科学と口腔ケアを融合した取り組みを進めてきました。国際歯科研究学会（IADR）小児口腔健康研究部会（POHR

group)のリーダーも務め、世界的な歯科保健の向上に尽力してきた人物です。「歯みがきスイーツ(仮)」の商品デザインは、鹿児島から全国に低糖質スイーツを広め低糖質スイーツ専門店を牽引してきた高谷浩史氏。これまで砂糖(ショ糖)を一切使わず、自然な甘みと美味しさを追求したスイーツを数多く開発し、2023年には経済産業省「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」に選定されるなど、その品質と革新性が高く評価されています。



【問い合わせ先】

平間雅博准教授 & 歯みがきスイーツ(仮)準備会 広報部 TEL: 090-9486-7586

歯磨きスイーツ(仮)準備会公式 LINE: <https://lin.ee/Vg86R1U>

※ニュースリリースは鹿児島大学ホームページからのご確認できます。(解禁日以降に随時掲載)

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/pr-info.html>

【トップページ>大学紹介>広報>ニュースリリース・報道・広告】